

交流の場ビオトープ

—東山いきいき市民活動センター中庭ビオトープ—

令和3年度第4号（R3.10.30発行）

〔実施日時〕 令和3年10月29日（金）10時15分頃から1時間余

〔実施者〕（センター職員）佐伯、山野、斉藤合計3名（敬称略）

〔ビオトープの整備活動〕

ビオトープのある中庭に入った時、ビオトープを囲む3面が青紫の外来アサガオで豪華に化粧しているのが目に入りその美しさに複雑な思いをいたしました。左側と正面の金網、右側のアンズやナツグミの低木類に溢れんばかりに絡みついて咲いているのです。確かに美しいのですが、このような外来植物が繁茂して本来のビオトープ植物を圧迫する勢いです。そしてその勢いの基となるのがビオトープ内の土壤に伸びている強固な蔓です。これ以上繁茂してはビオトープの身上である多様性が損なわれてしまいます。



〔作業の内容〕

◇ この日は1時間の短時間の作業予定でしたので、その時間内でできるだけの除草を行うことにしました。

短時間にもかかわらず、3人での作業のため瞬く間に180ℓもあるポリ袋2杯が一杯になりました。

いたる所に朝顔の蔓がはびこっていました。

◇ 除草に加えて、密集しているヤブカンゾウを間引いて気持ちの良いヤブカンゾウエリアが出現しました。またオミナエシ周りの草を除去してところ、昨年まで1株であったオミナエシが3株に増えていました。来年の花時が楽しみです。

〔植物と生き物の観察〕

<生き物>

◇ メダカは、松浦さん、佐伯さん、走りさんが継続して管理していただいていたので、水涸れもなく、元気に育っていました。

◇ 相変わらずシジミチョウとキチョウが来てくれています。

<植物>

- ◇ 今咲いている花は、ノギク、フジバカマ、ホトトギスです。
- ◇ 池の周りではムラサキシキブとナンテンの実が彩りを添えていました。

★ 中庭への入口近くの廊下には、職員の松浦さんのセンスある計らいで、掲示板にこれまでの各季節の様々なビオトープ風景の写真が貼られ、その手前の長机には、これまでの「交流の場ビオトープだより」をクリアファイルに綴じて展示され、ビオトープの紹介に工夫していただいております。★

プランターでの菜園

ビオトープのとなりの大型プランターでは、この秋から野菜が栽培されています。

現在は、にんじんと二十日大根が育っています。この暖かい気温のせいもあってモンシロチョウの“あおむし”がたくさん生育していましたので、かわいそうながら、みんなで除去しました。

別のプランターにはスイセンの球根が入れてあり、植木鉢ではキクタニギクがたくさんを付けています。まもなく良い香りを放ってくれることでしょう。

〔お庭デザイン部〕 管理者：松浦氏

試験栽培園(仮称)

中庭の、エアコン室外機群を隔てたビオトープエリアと反対側の畑では、棉や染色用の植物などを育てています。

これまで雑然としていましたが、現在はすっきりと整備され以下の植物が植栽されています： ミョウガ、シソ、シシトウ、ローズマリー

〔Nu i Nu iらば〕 管理者：走り氏、佐伯氏

NPO法人 ビオトープネットワーク京都

〒 607-8423 京都市山科区御陵山ノ谷34-1

TEL : 080-4974-1270

FAX : 020-4667-8027